

科目名	保育内容総論		担当教員	石井章仁		
			担当形態	単独		
テキスト	「保育内容総論」中央法規出版	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境を通して行う保育」における保育内容についての最低限の知識を持ち、さらに、保育者の役割について理解し、説明できる。 ・保育の計画をたて、援助の見通しを持ち、保育を振り返り、自身の実践について説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>1年次の「保育内容」の授業では子どもの生活や遊びについて領域の視点からみることを学んできましたが、「総論」では保育内容をもっと総合的にとらえていきます。まずは日本の保育の基本である「環境を通して行う教育（保育）」について具体的に再確認します。また、教育実習Ⅱでの学びを視野に入れながら、計画をたてる、実践する、振り返るという一連の流れを学びます。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 保育内容の構成と意義 第2回 「環境を通して行う教育・保育」の考え方の再確認 第3回 遊びのとらえ方と援助について 第4回 生活場面のとらえ方と援助について 第5回 設定活動・行事の考え方について 第6回 子どもの育ちと保育内容 第7回 保育内容と指導計画の作成・展開①－計画の意義 第8回 保育内容と指導計画の作成・展開②－計画の実際 第9回 保育における考察 第10回 保育内容と保育環境のありかた①－環境構成の意義 第11回 保育内容と保育環境のありかた②－環境構成の実際 第12回 保育内容の歴史の変遷 第13回 家庭・地域・小学校との連携と保育内容 第14回 保育の実際と保育内容の多様性－様々な事例より保育を考える① 第15回 保育の実際と保育内容の多様性－様々な事例より保育を考える②</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で提示された課題について調査・検討してくること。 ・授業後に授業内で学んだことを整理し、まとめること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 — 70% ・小レポート — 30% 						
参考文献	特になし。 追って指示をする。		特記事項	特になし。		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修		幼	教職に関する科目		
			保	保育の内容・方法に関する科目		